

火山災害から安全に避難するために

—日本の火山ハザードマップWEB公開—

5月18日より日本の火山ハザードマップデータベースのWEB公開を始めました。ここには、1983年から2006年3月までに日本で公表された37活火山のハザードマップ(100点以上:図1)が旧版から解説資料(約80点)まで、網羅的に収録されています。

ディスプレイ閲覧用と印刷用(約400dpi;オリジナルサイズ印刷可能)の2種類のデジタル画像がPDFファイルの形式で収められています。火山分布図(図2)とリストの2種類から日本語また

は英語で検索ができます。また、リストでは、火山ハザードマップを全体版と地域版に区分して利用しやすくするなど、様々な工夫がされています。

本データベースは、活火山の防災に従事する行政や業務担当者、研究者に火山防災のための基礎資料として提供することにより、住民に対して火山防災情報のより効果的な発信に寄与することが期待されています。

アドレス：<http://www.bosai.go.jp/library>



図1：ハザードマップの一例

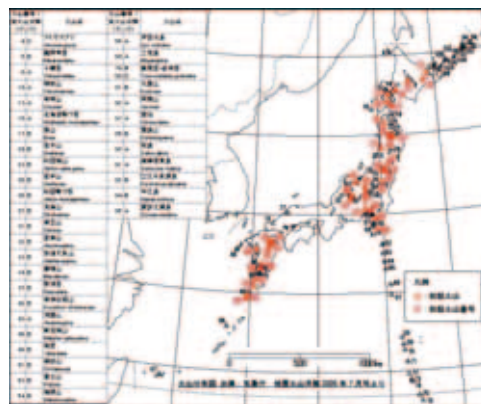


図2：日本全国の火山分布図(△活火山、▲データベースに収録されている火山)

学会賞受賞

防災システム研究センター災害リスク研究チームの白田裕一郎が、社団法人日本写真測量学会奨励賞を受賞しました。受賞対象論文は、「オブジェクト指向型土地被覆分類のための領域成長法による画像分割の最適化」「時系列SAR画像を用いた土地被覆変化箇所早期検出手法に関する研究」です。

第5回成果発表会のご報告

—つくば国際会議場で開催—

■ ■ つくば国際会議場で開催 ■ ■

第5回成果発表会が6月13日（火）つくば市のつくば国際会議場で開催されました。「5年間の総括と今後の展開」と銘打った発表会には、400名近くの参加者があり、大盛況のうちに無事終了しました。

■ ■ 講演発表 ■ ■

講演会では、当研究所の研究員が、「火山災害の軽減目指して」1時間先



特別講演：日本アイ・ビー・エム社における災害への備えと顧客のシステムの復旧対応 白川一敏氏



今中期計画における研究開発方針に関する講演：岡田義光



ポスター展示会場の様子

の豪雨災害の発生予測を目指して」「雪害を減らす」「災害に強い社会システムの形成に向けて」「基盤的地震観測網を活用した地震活動の評価」「地震ハザード評価手法の開発」「E-ディフェンスを活用した耐震工学研究」「自治体のための災害対応情報システムの開発」という8テーマでそれぞれ講演をしました。

■ ■ 特別講演 ■ ■

また、特別講演として「日本アイ・ビー・エム社における災害への備えと顧客のシステムの復旧対応」というテーマで、日本アイ・ビー・エムの白川一敏執行役員に貴重なご講演を頂きました。

■ ■ ポスター発表 ■ ■

ポスター発表には、地震、火山、風雨、雪氷、防災、国際貢献などの各研究部門から74点のポスターが展示、説明されました。

ご参加下さいました大勢の皆さまには、心よりお礼申し上げます。

今後とも職員一堂気を引き締め、防災研究を着実に進めて参ります。

皆様方のご指導、ご支援を宜しくお願い致します。

編集・発行／  独立行政法人 防災科学技術研究所

〒305-0006 茨城県つくば市天王台3-1 ☎029-851-1611(代)

広報普及課直通☎029-863-7783 Fax.029-851-1622

E-mail◆toiawase@bosai.go.jp ホームページ◆<http://www.bosai.go.jp>

発行日／2006.7.21